

日 技 代 議 員 各 位

公益社団法人 日本歯科技工士会
会 長 杉 岡 範 明
(公印省略)

第4回社員総会開催通知

標記の件、定款第15条により開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席方をお願いいたします。
なお、当日社員総会に出席できない代議員は、定款第20条により他の代議員を代理人として議決権を行使させることができます。この場合は、同封別紙の「委任状」に署名、捺印の上、6月17日までにご返送ください。

記

1. 社員総会の
日 時 2015年6月20日(土) 12:15~14:45(予定)
2. 場 所 歯科技工士会館
東京都新宿区市谷左内町21-5 電話 03-3267-8681
交通 JR総武線、東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅下車
3. 当 日 の
会 議 日 程 日技厚生会運営委員会 [参考] 10:30 ~ 11:00
ニチギデータセンター運営審議委員会 [参考] 11:00 ~ 11:30
資 格 審 査 委 員 会 11:30 ~ 11:45
議 事 運 営 委 員 会 11:30 ~ 11:45
社 員 総 会 12:15 ~ 14:45(予定)
4. 同封書類 「委任状」 1通

【社員総会】

- I. 議 案 第1号議案 2014年度事業経過報告承認の件
第2号議案 2014年度会計収支決算報告承認の件
監事報告
- II. 協 議 事 項 (1) 日技新発展『7』プラン推進について
(2) その他
- III. 報 告 事 項 (1) 時局・渉外について
(2) 2015年度事業計画・予算について
(3) 歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会について
(4) 2015年度教育研修推進事業助成金給付対象事業について
(5) 献血ボランティア推進事業について
(6) 「2015 歯科技工士実態調査」について
(7) 歯科技工所開設届け出等整備推進事業について
(8) 組織運営について
(9) その他

〔質問・要望事項について〕

社員総会における質問・要望事項は、印刷の都合上、地区ブロック又は地域組織毎にまとめ、文書（Eメール、FAX可）によりご送付下さい。

- (1) 形 式 : ①A4版用紙を縦長に使用し、横書き記入すること。
②質問と要望を明確に分け、簡潔に記入すること。
③質問・要望事項毎に提出代議員名を記入すること。
- (2) 提出期限 : 2015年6月9日(火)〔厳守〕

E-mail:nichigi@info.email.ne.jp FAX:03-3267-8650

※社員総会議案書(資料)は6月3日頃に発送の予定です。

※上記議案、協議事項、報告事項は2015年4月30日現在の予定です。追加議案等がある場合は追ってお知らせします。

以 上

※ 本会では5月16日から10月15日までの間、クールビズを実施いたします。

2015年6月20日

第4回社員総会会長挨拶

公益社団法人 日本歯科技工士会

会長 杉岡 範明

第4回社員総会にお集まりの皆様、ご挨拶申し上げます。

まず、何と云っても、ご報告しなければならないことは、前執行部から継続して取り組んできました歯科技工士国家試験の全国統一化に関わる『歯科技工士法の一部改正』と歯科技工士に係る『人事院規則の一部改正』の実現です。改めて、ご支援いただいた全ての皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

3月21日には、この間の成果を確認し、情報の共有と意識の統一を図るため、全国実務代表者会議を開催しました。私は、常に目的を達成するためには戦略と手段が必要だと思っています。その意味でも今回の成果は、会員が求める『良好な歯科技工経済』の実現に向けて、また一歩前進したものと確信しています。

本年は、組織創立60周年の節目の年となります。人に例えるならば、まさに還暦で人生を一巡りして二度目の誕生を祝う節目でもあります。先達の弛まぬ努力に感謝し、公益法人として国民に歯科医療の重要性とそれを支える歯科技工士の役割と存在を、しっかりと示さなければなりません。そして、今を生きる私達は、歯科技工士の明るい未来に向けた第一歩にもしなければなりません。

『国民に信頼され尊敬される組織の実現』を掲げた日技新発展『7』プランは、本会の各事業部門の施策として着実に実行する段階を迎えました。2015年度は、具体的な成果を示していきま。中でも、歯科技工士の諸課題解決の道筋を審議していただく『総合政策審議会』は、前半の日程を終え、今後、答申作成に向けてより一層掘り下げた議論が行われるものと思います。

この一年、私は、会務に取り組む姿勢として、できるだけ各地を訪ね、地域組織役員の皆様と会員の皆様の声を直接伺う機会を求めてきました。それは、歯科技工士のナショナルセンターとしてできることとできないことの現実はあるものの、組織の代表は、いつも声なき声に耳を傾け、常に厳しい状況に置かれている人の立場に身を置き、行政、政治、関係団体との渉外活動に臨まなければならないという強い信念を抱いているからです。改めて、背負う役割の重さと期待の大きさを自覚し、やらなければならないことに邁進していきます。

言うまでもなく、一人の人間ができることは限られています。だからこそ、ここにいる役員とそれを支える皆様とのチームワークで、歯科技工士の明るい未来を築いていかなければなりません。

本日の会議が会員の負託に応える有意義なものとなるように願い挨拶といたします。

「歯科技工士生涯研修カード」デザイン、運用スケジュール等について

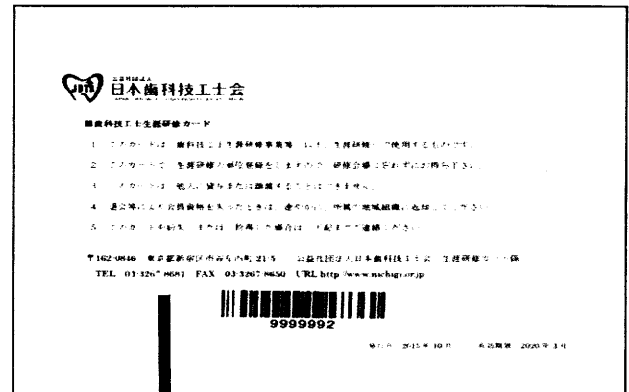
『7』プラン推進委員会

■デザイン

【表】



【裏】



■歯科技工士生涯研修カード

1. このカードは、歯科技工士生涯研修事業（以下、生涯研修）で使用するものです。
2. このカードは、生涯研修の受講単位の記録用です。研修会場に忘れずお持ちください。
3. このカードは、他人に貸与または譲渡することはできません。
4. 退会等により会員資格を失ったときは、このカードは無効になります。速やかに、所属地域組織にご返却ください。
5. このカードを紛失、または、拾得した場合は、下記までご連絡ください。

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-5 公益社団法人 日本歯科技工士会 生涯研修カード係
 TEL 03-3267-8681 FAX 03-3267-8650 URL: <http://www.nichigi.or.jp>

発行日 2015年10月／有効期限 2020年3月

■特記事項

1. カードは、発行から5年間の有効期限とする。
2. 当初のカード製作及び会員宛て発送に関わる費用は、日技が負担する。
3. 紛失した場合等の再発行に関わる費用は、当事者が負担する。
4. バーコードリーダーは、各地域組織（都道府県技）に1台ずつ貸与する。
5. 受講履歴を個人で閲覧できるシステムを採用する。
6. 「歯科技工士生涯研修報告書」の提出は従来どおり行う。

■運用スケジュール（予定）

2015年8～9月：カード製作

9～10月：会員宛てカード発送

バーコードリーダー発送

10～11月：カード運用開始

2016年6～7月：受講履歴確認システム運用

『日技指定研修』開催概要

2015.5.14 現在

指定研修科目	ア 顎口腔機能学	イ 歯科技工所管理
目的	顎口腔機能学は、約20年前から教育科目に加えられており、その科目を履修していない歯科技工士のために、日技指定研修として実施することにより、国民に質の高い歯科医療を提供する。	歯科技工所構造設備基準、経営学、社会学、社会保険労務等一講座で複数科目を履修し、必要回数を修了した者にインセンティブを与え、国民に質の高い歯科医療を提供する。
実施の主体	公益社団法人日本歯科技工士会	
対称	歯科技工業務に従事する歯科技工士及びその他の歯科関係者	
講師	日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科補綴学非常勤講師 小出 勝義 先生（予定）	日技担当役員
使用テキスト	「顎口腔学」をわかりやすく！～咬合と顎関節の関係～（仮題）	科目により異なる
実施期間	2015年9月1日から2016年3月31日	
講義時間	180分	
催事運営	開催地域組織が周知、会場手配、運営等を行う。	
受講料	会員は原則無料	
費用負担	日本歯科技工士会が負担	
開催回数	各研修とも4か所	

2015 年度 事業 計画

基本方針

Advance 2015

歯科技工士法の一部改正が2015年4月1日から施行され、社会制度の中で歯科技工士の位置付けが、より明確になる。今後は、さらに組織として関与し、責任を持って対応していかなければならない。

また、日技新発展『7』プランの柱の1つである「総合政策審議会」も動き出し、幅広い議論の上で歯科技工士の未来像が描かれるであろう。

そして、何よりも「入会したくなる組織」の実現を目指して様々な事業が「前進」する希望の年としたい。

1. “日技新発展『7』プラン”の推進

- 目標達成をおおむね6年とする中長期総合計画の工程表に沿って策定した単年度計画の実現に努める。
- 引き続き、計画策定の趣旨を理解していただくための啓発活動を積極的に行う。
- 『7』プランの実現に向けて、推進委員会と担当事業部門が連携して効率的に取り組む。
- 計画の有効性と有用性を常に評価し、見直しと公表を行う。

2. 公益社団法人としての円滑な会務運営

- 国民の歯科医療及び口腔保健等の増進に寄与する公益事業を積極的に行う。
- 歯科技工士のナショナルセンターとして、歯科技工士の存在を広く社会にアピールし、職業イメージの転換を目指す。
- ナショナルセンターを支える地域組織の合理的運営を積極的にサポートする。
- 「歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会」の遺漏なき対応に努める。

3. 歯科技工士の環境整備に向けた取り組み

- 「総合政策審議会」の議論を見守りつつ、国民歯科医療に欠かせない歯科技工士の明るい未来を求めて、臆することなく挑戦し続ける。
- 歯科技工士教育の修業年限延長に向けて、「手段」と「戦略」をステップアップする。
- 取り組みの必要性と状況報告を適宜行い、環境整備の原動力として不可欠な組織拡充につなげる。

なお、組織運営の要である『7』プランの基本戦略は、組織の潜在力や可能性を引き出すために「発展性」、「能動性」、「実現性」の3つの視点で構築されている。会員の負託に応えバランスの取れた会務執行に努める決意である。

部門別事業計画

I. 教育研修事業

歯科技工士に関する教育研修を担う部門として、以下の事業を行う。

生涯研修事業においては、地域組織の生涯研修実行委員や、関係団体との連携のもと、会員等の要求にこたえ、国民の口腔保健維持増進に寄与し、社会貢献が果たせる有用な生涯研修を実施する。また、生涯研修修了者名簿の入力の簡素化を図る手法を構築していく。広報誌学術欄の一層の充実、優秀論文表彰、学術座談会の開催も引き続き行っていく。加えて、病原微生物の基礎知識と歯科補てつ物等製作過程における感染症対策手法を啓発することにより、国民に一層安全な歯科医療を提供するため、感染症予防歯科技工士講習会を継続開催する。

1. 学術事業関連

- (1) 日本歯科技工学会ほか関係団体との連携協力
- (2) 日技認定講師資格認定関係事業
- (3) 広報誌学術欄の充実、掲載原稿の提供
- (4) 学術優秀論文選考、表彰
- (5) 学術座談会の開催
- (6) 地域組織、関係団体との連携及び情報提供
- (7) 日技ホームページ充実のための協力

2. 歯科技工士生涯研修事業

- (1) 「厚生労働省後援」の継続申請
- (2) 生涯研修催事に係る認定作業
- (3) 生涯研修制度及び研修内容等の改善
- (4) 生涯研修修了者名簿の入力の簡素化を図る手法の構築

3. 厚生労働省委託事業「感染症予防歯科技工士講習会」の継続開催

4. 『7』プラン当該部門関連施策推進のための活動

II. 国際振興事業

歯科技工士の国際振興・交流事業を担う部門として、以下の事業を行う。

1. 歯科医療における国際協力事業の一環として、公益財団法人国際医療技術財団との交流のもと、開発途上国に対し歯科技工技術・知見の伝播を図る。
2. 福岡で開催される第18回アジア・太平洋地域歯科技工士連盟協議会の遺漏なき準備と運営
3. 海外の歯科技工技術等に関する情報収集と研究分析
4. 『7』プラン当該部門関連施策推進と準備
5. その他国際的渉外活動

Ⅲ. 広報企画事業

歯科技工に関する普及啓発事業の広報企画を担う部門として、以下の事業を行う。

広報誌やホームページ等の媒体による情報発信を通じて、歯科技工技術知見等の普及促進、歯科技工所の管理に関する規範等の普及啓発、労働安全衛生の推進等に努め、歯科技工士の質の確保と向上に資する活動を行う。

外部広報としては、口腔保健の重要性等に関する情報を社会に発信し、広く国民の健康福祉に寄与する。また、『7』プランに掲げられた具体的施策の推進を中心に情報発信の強化を図り、歯科技工士および日本歯科技工士会の社会的認知度向上を図る。

これらの事業を遂行するため、各媒体の内容の充実と、効果的な広報活動の研究に努める。
また、組織の健全な発展のため、他部門や地域組織と連携し組織拡充に資する活動を行う。

1. 歯科技工に関する普及啓発活動

- (1) 広報誌の編集・発行（月刊、年12回）
- (2) ホームページ及びブログの運営
- (3) 普及啓発のための広報物の企画・製作
- (4) 効果的な広報活動の研究

2. 『7』プラン当該部門関連施策の推進

- (1) 歯科技工社会 PR 事業「入れ歯感謝デー市民公開講座」の開催
- (2) 「歯科技工社会貢献活動」企画の継続推進
- (3) ロゴマーク等の有効活用による社会 PR の促進
- (4) 歯科技工士を目指す若者を増やすための施策の研究

3. 組織拡充に資する活動

- (1) 未入会歯科技工士や学生に対する情報発信

4. その他

- (1) 記者会見の運営
- (2) WEB 会議システム等の推進
- (3) 地域組織に対する情報・ツールの提供

Ⅳ. 政策推進事業

歯科技工に関する普及啓発事業の政策推進を担う部門として、以下の事業を行う。

歯科技工所運営対策事業としては、良質な歯科医療の確保のためには、より安心して安全な歯科補てつ物等の供給が必要となる。そのため、厚生労働省から発せられる各種通知等の周知を図り、歯科技工士法に準じた歯科技工所の健全運営に資することを目的として、地域組織との連携を図りながら「歯科技工所開設届け出等整備推進事業」を継続推進する。また、次期歯科診療報酬改定へ向けた対応等も併せて推進する。

歯科技工士労務対策事業としては、労働基準法に準じた労働環境の整備を図るべく、歯科技工所運営対策委員会との協力体制により労働環境改善へ向けた事業を推進する。

また、本年度は3年ごとの定期調査である「歯科技工士実態調査」の対象年となり、より信頼性のあるデータ収集と発信に資する調査を実施する。

1. 歯科技工所開設届け出等整備事業の推進

2. 歯科技工経済に関する諸問題への対応
3. 次期歯科診療報酬改定へ向けた対応及び歯科用貴金属材料の国際的価格変動に伴う材料価格随時改定への対応
4. 歯科技工所開設者、勤務歯科技工士及び学生等に対する労働関係知識の啓発並びに「労働契約書」、「労働条件通知書」の普及定着等歯科技工士の労働環境改善へ向けた対応
5. 地域組織との連携、協力による諸問題に関する情報収集及び的確な対応
6. 広報誌、ホームページ等を活用した迅速な情報提供
7. 「歯科技工士実態調査」の実施、報告書の作成
8. 歯科技工に係る判例収集と分析、周辺関連法令、ガイドライン等の収集周知活動及び各種調査
9. 『7』プラン当該部門関連施策推進のための調査・研究

V. 法人運営事業

運営基盤の整備を基本とする法人運営を担う部門として、以下の事業を行う。

公益事業活動を展開するため、新規会員獲得及び退会防止対策は喫緊の重要課題であり、学生や若年未入会歯科技工士等に対する入会促進活動、地域組織の地域特性やニーズに即した組織拡充事業を推進支援する。そのための施策として組織拡充に資する諸事業を遂行する。

また、会員相互扶助の理念に基づき、会員慶弔制度の給付業務等について、地域組織と連携・協力を取りつつ、堅実な運営に努める。加えて、適性・健全な財務運営を行うとともに、ニチギデータセンターと連携・協力し会費収受を円滑に実施する。

さらには、首都直下地震等に備え、事務局機能維持のためのデータ等バックアップ体制を構築する。

(法人運営)

1. 社員総会はじめ理事会等各種会議や委員会、催事等の運営管理
2. ニチギデータセンターとの連携による会員管理と諸業務運営
3. 公益活動の拠点となる歯科技工士会館の保守管理
4. 定款及び諸規程の厳格な履行
5. 無料法律相談の実施
6. 『7』プラン推進委員会等関連部門の運営管理
7. 『7』プラン当該部門関連施策推進のための調査・研究
8. 2015年度開催日技創立60周年記念地域交流記念大会の企画・準備

(財務管理、会員共済)

9. 公益法人としての適性な財務管理
10. 会員相互扶助の理念に基づく各種給付事業
11. 「日技厚生会」との連携協力
12. 「歯科技工士国民年金基金」の事務運営効率化及び加入勧奨のための協力支援

(組織対策)

13. 地域組織、組織拡充対策
 - (1) 新卒者の入会促進
 - (2) 組織拡充支援金の効果的な活用
 - (3) 地域組織との入会促進活動、退会防止対策に関する連携体制の強化
14. 組織拡充活動に資する事業の推進
 - (1) 歯科技工士教育機関在校生等への情報提供
 - (2) 優秀卒業学生の表彰
 - (3) 「卒業者連絡先届」の有効活用を促進させるための事業展開
 - (4) 入会案内パンフレット等の発行
 - (5) 他部門との連携による入会促進活動等の企画・実施
15. 組織拡充に関する統計及び調査分析
 - (1) 入退会者等統計処理及び分析
 - (2) 年代、勤務・自営等、属性別の入会促進に資する調査分析

歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立 60 周年 地域交流記念大会概要

2015 年 4 月 17 日現在

創立 60 周年地域交流記念事業内容

日本歯科技工士会の創立を記念し、5 年ごとに国内外の地域交流を通じて、歯科医療等の増進に寄与するため、記念事業式典において歯科医療に顕著な貢献をした歯科技工士等を表彰、また選定した学術講師によるシンポジウム及び著名な人格者による講演会を開催するとともに記念誌等を発行し、会員をはじめ、関係団体、歯科技工士教育機関、全国図書館に広く配付する。

入れ歯感謝デー市民公開講座の目的

高齢化の進展により、入れ歯などの高揚が高まっている。入れ歯などは口腔機能の回復はもとより、全身機能の回復にも貢献することが報じられている。本会が定めた入れ歯感謝デーに実施するこの市民公開講座は、日本の高度な歯科技工技術に感謝の意味を込めて、国民が口腔衛生の重要性を再認識し、以って口腔保険に対する意識の増進を図ることを目的として実施する公開講座であり、地域住民に開かれた団体として理解を得ることも期待する。

名 称	歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立 60 周年地域交流記念大会
ス ロ ー ガ ン	『 継ぐ 60 年！笑顔の未来 歯科技工士の貢献 』
開 催 期 日	2015 年 10 月 17 日（土）
場 所	福岡県福岡市『ソラリア西鉄ホテル』
参 加 費	式典、特別講演（無料）祝賀会 10,000 円（来賓、授章者、同伴者除く）
記 念 講 演 ※市民公開講座	演者：養老孟司 演題：養老流～脳から見る生きがいと健康
同 時 期 開 催	①第 18 回アジア・太平洋地域歯科技工士連盟協議会 ②2015 年入れ歯感謝デー市民公開講座（市民公開講座） ③日技連盟評議員会（AQUA 博多） ※一般社団法人日本歯科技工学会第 37 回学術大会（アクロス福岡）

来賓予定者	<ul style="list-style-type: none"> ①厚生労働省 ②福岡県 ③歯科関係（日本歯科医師会、日本歯科衛生士会） ④その他
後援	<ul style="list-style-type: none"> ①厚生労働省 ②福岡県 ③公益社団法人 日本歯科医師会 ④公益社団法人 日本歯科衛生士会
各種表彰	<ul style="list-style-type: none"> ①厚生労働大臣表彰 ②日技功労章表彰 ③紫紺賞表彰 ④日技会長表彰
支援事業	「東風（こち）にのって - 市ヶ谷～太宰府 自転車 1,200kmの旅 -」
協賛企業	<ul style="list-style-type: none"> メットライフ生命保険 株式会社 ライオン 株式会社 株式会社 ジーシー アサヒプリテック 株式会社
委託企画運営業者	<ul style="list-style-type: none"> 西日本新聞イベントサービス 株式会社 西鉄シティホテル
宿泊旅券案内委託	<ul style="list-style-type: none"> 名鉄観光サービス株式会社 福岡支店 株式会社ティーアイプロジェクト
その他	

歯科技工士法制定および日技60周年 記念地域交流大会

大会概要

日 時 平成27年10月17日(日)
場 所 ソラリア西鉄ホテル8F
福岡市天神2-2-43 TEL(092)752-5555

60周年記念大会

- ・市民公開講座 8F(月・雪) 13:30~15:00
- ・記念式典 8F(月・雪) 15:30~16:30
- ・授与式 8F(花) 16:45~17:45
- ・祝賀会 8F(彩雲) 18:20~20:00

【入れ歯感謝デー市民公開講座】

- ・演者：養老孟司 演題「養老流～脳から見る生きがいと健康」
- ・定員：600名(一般・会員) 一般公開
- ・参加費：無料
- ・申し込み：チラシFAXによる事前申し込み、後日整理券が郵送されます。
- ・申し込み先：西日本新聞イベントサービス

【記念式典】

- ・開会の辞～祝辞～来賓挨拶～各賞顕彰式(各賞代表)～代表謝辞～閉会の辞
- ・式典終了後同会場にて授与式説明(顕彰者対象)

【授与式】

- ・顕彰者控室7Fルミナスを準備

【祝賀会】

- ・参加人数；350名を予定しています。予定を大きく下回る場合2次募集(動員)を掛けることがあります
- ・参加費：10,000円で顕彰者は招待、同伴者は無料です。顕彰者あるいは同伴者で祝賀会参加費を送金済みの方には後日精算させていただきます。
- ・受付：13:00から祝賀会開始まで受け付けます。
- ・開場：18:10ですが会場設営のため開場時間が前後することがあります。
- ・開始：18:30開会までウエルカムドリンク弦楽四重奏の生演奏で迎えます。
- ・申込み先：参加申し込み、参加費は地域組織(都道府県技)で集計纏めて日技に報告送金して下さい。事前登録、会費も前納を原則とさせていただきます。詳細につきましては「日本歯技」8月号にて案内します。

【宿泊】

- 1) 名鉄観光サービス株式会社 福岡支店 担当:角田恭一(カドタキョウイチ)
〒812-0011 福岡市博多区駅前1-2-5 紙与博多ビル8F
TEL092-451-8811 FAX092-432-360
- 2) 株式会社 ティーアイプロジェクト 担当:石井(女性)
福岡市中央区天神今泉1-2-20 天神プレイスウエスト棟1階
TEL092-713-7133、FAX092-713-7134

齒科技工士法制定および日本齒科技工士会創立60周年地域交流記念大会
 日技60周年記念式典・祝賀会・入れ歯感謝デー市民公開講座・アジア・太平洋地域齒科技工士連盟協議会・日技連盟評議員会

平成27年10月16日～19日 日程

[第7案]

平成27年6月3日現在

時間 日(曜)	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
16日(金)										日技連盟総務会 13:30～14:45 AQUA博多 3F E室	休憩		日技理事会 15:00～17:00 AQUA博多 3F E室	休憩		実行委員会 17:15～18:15 AQUA博多3 FE室						
17日(土)	催事名	受付 10:30	移動 (徒歩15分～ 20分)	入れ歯感謝デー市 民公開講座 13:30～15:00	60周年記念 式典 15:30～16:30	授与式 16:45～17:45	移動 25分	祝賀会 18:20～20:00														
	会場	AQUA博多 3F A室	市民公開講 座受付 8Fホワイエ	月・雪	休憩 (30分)	月・雪	花	彩雲														
18日(日)	催事名	第18回アジア・太平洋地域 齒科技工士連盟協議会 9:00～12:00	休憩・屋 食 12:00～13:30	第18回アジア・太平洋地域 齒科技工士連盟協議会 13:30～16:00	休憩または移動																	
	会場	ソラリア西鉄ホテル8F(北斗)		ソラリア西鉄ホテル8F(北斗)																		未定
19日(月)	催事名	関係団体へお礼の挨拶(訪問)																				
※ AQUA博多 3F A室 : 評議員会会場 E室 : 連盟総務会、日技理事会、実行委員会 E室 : 連盟総務会、日技理事会、実行委員会																						

第37回日本齒科技工学会(案) 会場:アクロス福岡

17日(土)	11:00 器材搬入・受付準備 13:30 開始	基調講演	ポスター・器材展示・他	17:00 終了
18日(日)	10:00 開始 器材・ポスター・エターナル・他	特別講演	企画・器材展示・ポスター	16:00 終了



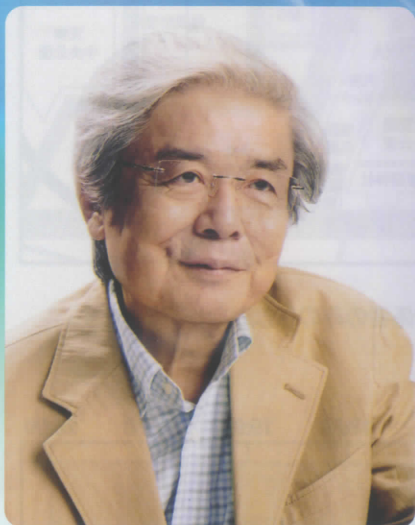
日本歯科技工士会創立60周年記念

継ぐ60年!笑顔の未来 歯科技工士の貢献

創立60周年地域交流記念大会 **入れ歯感謝デー**

市民公開講座

[参加者募集]



演題

「養老流～脳から見る生きがいと健康～」

講師

ようろう たけし
養老 孟司 氏 東京大学名誉教授

入場無料

定員 **600名**

※応募多数の
場合は抽選

日程 平成27年

10月17日(土)

時間 受付開始/13:00

開演**13:30~15:00**(終了予定)

会場 ソラリア西鉄ホテル 8F 彩雲

福岡市中央区天神2-2-43 TEL.092-752-5555

主催 公益社団法人 日本歯科技工士会

後援 厚生労働省

公益社団法人日本歯科医師会

公益社団法人日本歯科衛生士会

福岡県

協賛 メットライフ生命保険(株)、ライオン(株)

(株)ジーシー、アサヒブリテック(株)

お問合せ先 西日本新聞イベントサービス **TEL.092-711-5491** (平日10:00~18:00)

同時開催 歯科技工士法制定および日本歯科技工士会

創立60周年地域交流記念大会

●60周年記念式典 15:30~16:30

●授与式 16:45~17:45

●祝賀会 18:00~20:00

※プログラムの時間は都合により変更する場合がございます。

市民公開講座



講師プロフィール

東京大学名誉教授

ようろう たけし

養老 孟司 氏

1937年、神奈川県鎌倉市生まれ。東京大学医学部卒業後、解剖学教室に入る。以後解剖学を専攻。67年に医学博士号を取得し、81年東京大学医学部教授に就任。95年に東京大学を退官し、98年より同大学名誉教授に。85年以来一般書を執筆し始め、89年「からだの見方」でサントリー学芸賞、2003年『バカの壁』で毎日出版文化賞をそれぞれ受賞。そのほか主な著書として『唯脳論』、『解剖学教室へようこそ』、『養老訓』、『「自分」の壁』など

会場へのアクセス

ソラリア西鉄ホテル 8F 彩雲

福岡市中央区天神2-2-43
TEL.092-752-5555

- 地下鉄空港線「天神駅」出口⑥より徒歩3分
- 地下鉄七隈線「天神南駅」出口西12aより徒歩4分
- JR博多駅より
 - 地下鉄で…地下鉄空港線「博多駅」から「天神駅」まで約5分
 - 車、タクシーで約10分
- 高速バスでお越しの場合
 - 天神バスセンター降車口からソラリアプラザ4Fへ直結。
ソラリアプラザエスカレーターで8F(宴会場)へお越しください。

お申し込み方法

郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号、日本歯科技工士会会員の方は「日技会員」と明記し、はがき、FAX、メールのいずれかで下記宛先へお申込みください。

- はがき** 〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1-14F
西日本新聞イベントサービス
「入れ歯感謝デー市民公開講座」係
- FAX** 下記申込用紙に記入の上、
FAX092-731-5210へ送信ください。
- E-mail** tugu@nishinippon-event.co.jp
- 応募締切** 平成27年9月30日(水)必着
- お問合せ先** 西日本新聞イベントサービス
TEL.092-711-5491 (平日10:00~18:00)

※応募多数の場合は抽選にて聴講券(ハガキ)を発送します。
※ご応募の際にいただいた個人情報は本事業の連絡のみに使用させていただきます。



全体スケジュール

※「60周年記念式典」以降は、日本歯科技工士会会員及び関係者のみの参加となっております。
※プログラムの時間は都合により変更する場合がございます。

10/17[土] ソラリア西鉄ホテル7F 彩雲

13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00
入れ歯感謝デー 市民公開講座 13:30-15:00			休憩		60周年 記念式典 15:30-16:30		休憩	授与式 16:45-17:45		休憩	祝賀会 18:00-20:00		

市民公開講座 参加申込用紙 (FAX用)

氏名	TEL	性別	年齢
住所		<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性	歳
いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。			
<input type="checkbox"/> 一般 ・ <input type="checkbox"/> 日技会員			
氏名	TEL	性別	年齢
住所		<input type="checkbox"/> 男性 ・ <input type="checkbox"/> 女性	歳
いずれかに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。			
<input type="checkbox"/> 一般 ・ <input type="checkbox"/> 日技会員			

FAX 092-731-5210

※番号のおかけ間違いのないよう、ご注意ください。
※応募多数の場合は抽選にて聴講券(ハガキ)を発送します。※ご応募の際にいただいた個人情報は本事業の連絡のみに使用します。